

「あいち I T S 大学セミナー」について

1 大学セミナーの開催趣旨

I T S の普及啓発や、将来の当地域の I T S を支える人材の育成や産学連携につなげることを目的として、大学生・大学院生・高等専門学校生に対して I T S に関する講義を行います。

2 大学セミナーの開催方法について

(1) 受講対象者

県内の大学・高等専門学校に所属する学生

※学年、専攻内容は問いません。

(2) 派遣する講師

民間企業等で I T S の研究開発などに携わっている協議会会員

(3) 講義の形態

90分（1コマ相当）の講義を原則としています。

※既存のカリキュラムや特別講義の一部としてご活用いただけます。

(4) 開催期間

2026年5月から2027年2月まで

(5) 開催場所

応募のあった大学・高等専門学校の講義室

(6) 講義内容

I T S についての初心者向けの解説（I T S の現状や今後の展望、愛知県における I T S 推進の取組など）に加え、大学・高等専門学校の希望に応じた専門的な内容（安全運転支援技術、プローブ情報など）の講義を行うことも可能です。

3 応募にあたっての留意事項

(1) 「あいち I T S 大学セミナー応募用紙」（別添 2）に記入し、事務局へメール又は F A X でご提出をお願いします。

(2) 派遣する講師は、開催希望日時や希望講義内容を考慮して協議会で選定します。

(3) 開催日は大学・高等専門学校の希望日時と講師の都合を鑑みて調整します。なお、多数の応募があった場合は、開催できない場合や希望時期に開催できない場合があります。

(4) 講師との調整が概ね整い次第、事務局からご連絡します。詳細な内容については、講師と大学等との間で調整をお願いします。

(5) 派遣する講師と担当教員・指導学生との意見交換の場を講義とは別に設けるなど、ご要望に応じた調整を行います。

(6) 受講者の確保、配付資料の印刷、使用機材（プロジェクター、スクリーン等）の用意をお願いします。なお、講師の派遣に必要な旅費は協議会で負担します。

(7) 講義実施後、受講者及び担当教員向けアンケートへのご協力をお願いします。

4 提出先・問い合わせ先

愛知県 I T S 推進協議会事務局 東堤

(愛知県都市・交通局交通対策課内)

TEL : 0 5 2 - 9 5 4 - 6 1 2 5 FAX : 0 5 2 - 9 6 1 - 3 2 4 8

E-mail : kj-san1@pref.aichi.lg.jp

【参考】開催実績 (2025 年度)

学校名	講師	テーマ	受講者数
愛知淑徳大学	三菱自動車工業(株)	ITS の技術動向 ～安全運転支援技術から自動運転へ～	12
愛知工業大学 (2年・3年)	(株)デンソー	ITS と次世代自動車を支える半導体技術	190
名城大学	名古屋鉄道(株)	I エリア版 MaaS 「CentX」の歩みとこれから ～シームレスでストレスフリーなモビリティネットワークの実現に向けて～	63
愛知工科大学 (3年・院生)	(株)アイシン	ITS 技術と公共交通 DX -持続可能な公共交通チョイスコについて-	76
中部大学	中日本高速道路(株)	高速道路における ITS	17
名古屋工業大学	トヨタファイナンシャルサービス(株)	トヨタの MaaS アプリ「my route」の取り組み～観光・商業・スポーツとの共創による地域活性化～	166
愛知県立大学	(株)デンソー	ITS と次世代自動車を支える半導体技術	63
愛知学院大学	名古屋鉄道(株)	I エリア版 MaaS 「CentX」の歩みとこれから ～シームレスでストレスフリーなモビリティネットワークの実現に向けて～	85
愛知学院大学	トヨタ自動車(株)	ITS のモビリティ社会への貢献	77
名古屋産業大学	三菱自動車工業(株)	ITS の技術動向 ～安全運転支援技術から自動運転へ～	135
名古屋産業大学	(株)アイシン	ITS 技術と公共交通 DX -持続可能な公共交通チョイスコについて-	42

<教員からの意見・感想>

- ・ ITS について知らない学生が多いと感じている。そのような中で、ITS を主題として社会情勢や技術的な内容を学べる機会をいただけることは大変ありがたい。ぜひ今後も継続して実施してほしいと思う。
- ・ 実際の取り組みを直接聞くことができる大変貴重で有意義な機会であり、業界の現役の方から ITS 技術の商用化実績や研究開発、実証実験について講義いただけることに深く感謝している。
- ・ 最新の話題をご説明いただいたことで、多くの学生が強い関心を示したことがうかがえた。

<学生からの意見・感想>

- ・ 外国語学部の自分でも理解しやすく、最新技術を日常生活と結びつけて考えられた点がとても良かったと思う。
- ・ AR-HUD の説明が、自動車学校に通う自身の経験と結びついて興味深く、今後の技術発展についても学びたいと感じた。
- ・ これまであまり触れてこなかった分野の講義だったため、新たな知見を広げることができたと感じた。